

平成 27 年度日本体操学会 理事会 議事録

開催期日：平成 27 年 9 月 12 日（土）10:40～11:55

開催場所：京都学園大学 体育館講義室

出席者数 16 名：古川会長、後藤副会長、吉中副会長、金子理事長、鈴木副理事長、
瀬戸口、大塚、高岡、山田、三宅、本谷、亀田、砂田、住本、檜皮
荒木(遅れて出席) (敬称略)

欠席者数 6 名：長谷川副会長、今村、小出、関野、春山、鞠子（敬称略）
委任状 4 通

1. 開会

2. 会長挨拶

古川会長より挨拶があった。

3. 議長・書記・議事録署名人の選出

議長は金子理事長、書記は鈴木副理事長、議事録署名人は檜皮理事が選出された。

出席者は 15 名、委任状 4 通あり理事会は成立している。

4. 議事

議案－1 平成 26 年度 活動報告

金子理事長より平成 26 年度の活動報告がされ、承認された。

議案－2 平成 26 年度 会計報告

鈴木副理事長より平成 25 年度会計報告がされ、承認された。

議案－3 監査報告

鈴木副理事長より、監事による監査で会計が適正に執行されていたとの報告があった。

議案－4 会則の変更について

金子理事長より会則変更について説明があり、承認された。

議案－5 日本体操学会第 7 期役員(案)

後藤副会長より役員選挙結果についての報告後、金子第 7 期会長より会長推薦の理事
について選出の経緯説明がされたのち、第 7 期役員について承認された。

会長推薦理事について、あらかじめ基準を設けたほうがいいのかという意見
に対し、特に必要はないが地方のことを考えて選出してほしい、情報を共有し皆で話し
合いながら選出するのが望ましいと要望が出された。

議案－6 平成 27 年度 事業計画

金子理事長より、平成 27 年度の事業計画が説明され承認された。

交流委員会の事業計画で、後藤副会長より8月25日に共催した日本体育学会でのワークショップについて報告がされた。

議案ー7 平成27年度 予算案

鈴木副理事長より、平成27年度の予算案が説明され、承認された。

5. 報告

1) 平成27年度 会員動向

鈴木副理事長より、平成27年度の会員動向が報告された。

学生会員から正会員への継続についてその具体策を継続審議とする。

2) 第11回学術研究集会開催案内

高岡理事より、第11回学術研究集会が平成28年3月26日(土)に鹿児島県にて開催する旨の案内があった。

3) 第16回学会大会開催案内

高岡理事より、第16回学会大会が平成28年9月10日、11日の両日に鹿児島県霧島にて合宿形式で開催する旨の案内があった。

6. その他

1) 吉中組織委員長より、学会大会について案内があった。

2) 大塚次期理事長より、第7期の各委員会等について、ご意見やアイディアのいただきたいと発言があり、下記の意見が出された。

- ・課題に対してワーキンググループで作業を具体化していくことが望ましい。
- ・会員が少なくなっているため、地方の一般の体操に係る方を対象に会員を増やす必要があるのではないか。
- ・学会大会を担当校の2~3名のスタッフで企画・運営するのは大変難しいので、サポート体制を整えていくことが必要ではないか。
- ・学生会員が卒業して教員になっても大学関係者でないと、なかなか継続して参加することが難しい現状である。また、一般体操関係者も参加していただけるよう工夫していく必要がある。
- ・発足当初は堅苦しくない学会を目指した。現在は一般体操関係者にとって敷居が高くなっている。学術研究集会というネーミングは堅苦しく、この辺りを改革していかなければ会員は減る一方である。
- ・個々が目指す体操をそれぞれのジャンルで充実して集団形成をしていく構造が思い浮かぶ。人が集まるための知恵を出さないといけないのではないか。
- ・大会企画でディスカッションする時間を設け、広く会員から意見を求めてはどうか。
- ・学校体育、高齢者、ライフサイクルに合わせた分科会を作り、興味のある分野に集まることも一手段である。

7. 閉会

後藤副会長より、挨拶があった。

議 長 金 子 嘉 徳

議事録署名人 檜 皮 貴 子